

## NY マーケットレポート (2015年9月1日)

NY 市場では、世界的な株価下落を背景に、リスク回避の動きが強まっており、序盤からドル円・クロス円は軟調な動きとなった。また、米 ISM 製造業景況指数が市場予想を下回り、2013 年 5 月以来 2 年 3 ヶ月ぶりの低水準となったことから、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。ただ、米雇用統計の発表を週末に控えて積極的な売買が手控えられていることもあり、ドル/円は終盤までレンジ内の展開が続いた。そして、原油価格が大きく下落したことが影響して、資源国通貨や新興国通貨が下落しており、対してユーロを買う動きが優勢となったことから、ユーロは主要通貨に対して上昇する動きとなった。

### 2015/9/1 (火)

| TOKYO   | 東京終値   | 東京高値   | 東京安値   |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 120.06 | 121.27 | 119.98 |
| EUR/JPY | 135.92 | 136.24 | 135.81 |
| GBP/JPY | 184.63 | 186.24 | 184.54 |
| AUD/JPY | 85.36  | 86.46  | 85.30  |
| EUR/USD | 1.1321 | 1.1333 | 1.1208 |

| LONDON  | LD高値   | LD安値   |
|---------|--------|--------|
| USD/JPY | 120.27 | 119.55 |
| EUR/JPY | 135.94 | 134.84 |
| GBP/JPY | 184.74 | 183.24 |
| AUD/JPY | 85.44  | 84.57  |
| EUR/USD | 1.1326 | 1.1244 |

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

| アジア主要株価     | 終値       | 前日比     |
|-------------|----------|---------|
| 日経平均        | 18165.69 | -724.79 |
| ハンセン指数      | 21185.43 | -485.15 |
| 上海総合        | 3166.62  | -39.36  |
| 韓国総合指数      | 1914.23  | -27.26  |
| 豪ASX200     | 5096.41  | -110.57 |
| インドSENSEX指数 | 25696.44 | -586.65 |
| シンガポールST指数  | 2882.77  | -38.67  |

| 欧州主要株価      | 終値       | 前日比      |
|-------------|----------|----------|
| 英FT100      | 6058.54  | -189.40  |
| 仏CAC40      | 4541.16  | -111.79  |
| 独DAX        | 10015.57 | -243.89  |
| ST欧州600     | 352.89   | -9.90    |
| 西IBX35指数    | 9992.80  | -266.20  |
| 伊FTSE MIB指数 | 21451.37 | -490.55  |
| 南ア 全株指数     | 48515.13 | -1457.20 |

| NEW YORK | NY終値   | NY高値   | NY安値   |
|----------|--------|--------|--------|
| USD/JPY  | 119.72 | 120.19 | 119.63 |
| EUR/JPY  | 135.29 | 135.45 | 134.68 |
| GBP/JPY  | 183.27 | 184.30 | 183.13 |
| AUD/JPY  | 84.09  | 84.80  | 83.97  |
| NZD/JPY  | 75.87  | 76.31  | 75.76  |
| EUR/USD  | 1.1302 | 1.1314 | 1.1233 |
| AUD/USD  | 0.7025 | 0.7065 | 0.7016 |

| 米主要株価  | 終値       | 前日比      |
|--------|----------|----------|
| 米ダウ平均  | 16058.35 | -469.68  |
| S&P500 | 1913.85  | -58.33   |
| NASDAQ | 4636.11  | -140.40  |
| その他主要株 | 終値       | 前日比      |
| トロント総合 | 13481.90 | -377.22  |
| ボルサ指数  | 42911.51 | -810.45  |
| ボバスパ指数 | 45477.06 | -1148.46 |

#### 9/2 経済指標スケジュール

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 08:50 | 【日】8月マネタリーベース        |
| 10:30 | 【NZ】8月ANZ商品価格指数      |
| 10:30 | 【豪】2Q GDP            |
| 16:30 | 【スウェーデン】2Q経常収支       |
| 17:30 | 【英】8月建設業PMI          |
| 18:00 | 【欧】7月生産者物価指数         |
| 19:00 | 【ポーランド】政策金利発表(時間不確定) |
| 20:00 | 【米】MBA住宅ローン申請指数      |
| 21:15 | 【米】8月ADP雇用統計         |
| 21:30 | 【米】2Q非農業部門労働生産性      |
| 22:00 | 【メキシコ】8月景気先行指数       |
| 22:30 | 【シンガポール】8月購買部景気指数    |
| 22:30 | 【シンガポール】8月電子産業指数     |
| 23:00 | 【米】7月製造業受注指数         |
| 03:00 | 【米】米地区連銀経済報告[ページブック] |

| コモディティ  | 終値      | 前日比    |
|---------|---------|--------|
| NY GOLD | 1139.80 | +7.30  |
| NY 原油   | 45.41   | -3.79  |
| CMEコーン  | 369.00  | -6.25  |
| CBOT 大豆 | 874.00  | -13.50 |

| 米国債利回り | 本日    | 前日    |
|--------|-------|-------|
| 2年債    | 0.71% | 0.74% |
| 3年債    | 1.01% | 1.05% |
| 5年債    | 1.49% | 1.55% |
| 7年債    | 1.89% | 1.94% |
| 10年債   | 2.16% | 2.21% |
| 30年債   | 2.92% | 2.95% |

#### 9/2 主要会議・講演・その他予定

|  |
|--|
|  |
|--|

(出所: SBILM)

## NY 市場レポート

21:00

ドル/円 120.10 ユーロ/円 135.10 ユーロ/ドル 1.1250

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

| 欧州主要株価  | 株価      | 前日比     | 米株価先物            | 株価      | 前日比    |
|---------|---------|---------|------------------|---------|--------|
| 英 FT100 | 6103.74 | -144.20 | ダウ<br>先物ミニ       | 16186   | -322   |
| 仏 CAC40 | 4550.97 | -101.98 | S&P<br>500 ミニ    | 1929.75 | -39.50 |
| 独 DAX   | 9993.73 | -265.73 | NASDAQ<br>100 ミニ | 4181.25 | -90.50 |

(出所: SBILM)

21:30

< 経済指標の結果 >

6月カナダ GDP (前月比) 0.5% (予想 0.2%・前回 -0.2%)

2Q カナダ GDP (前期比年率) -0.5% (予想 -1.0%・前回 -0.8%)  
 前回発表の-0.6%から-0.8%に修正



(出所: ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ネットダニア)

22 : 33

米主要株価

| 米主要株  | 株価       | 前日比     |
|-------|----------|---------|
| ダウ平均  | 16242.08 | -285.95 |
| ナスダック | 4680.53  | -95.98  |

(出所：SBILM)

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

8月マークイット米国製造業 PMI 53.0 (予想 52.9・前回 52.9)



(出所：ブルームバーグ)

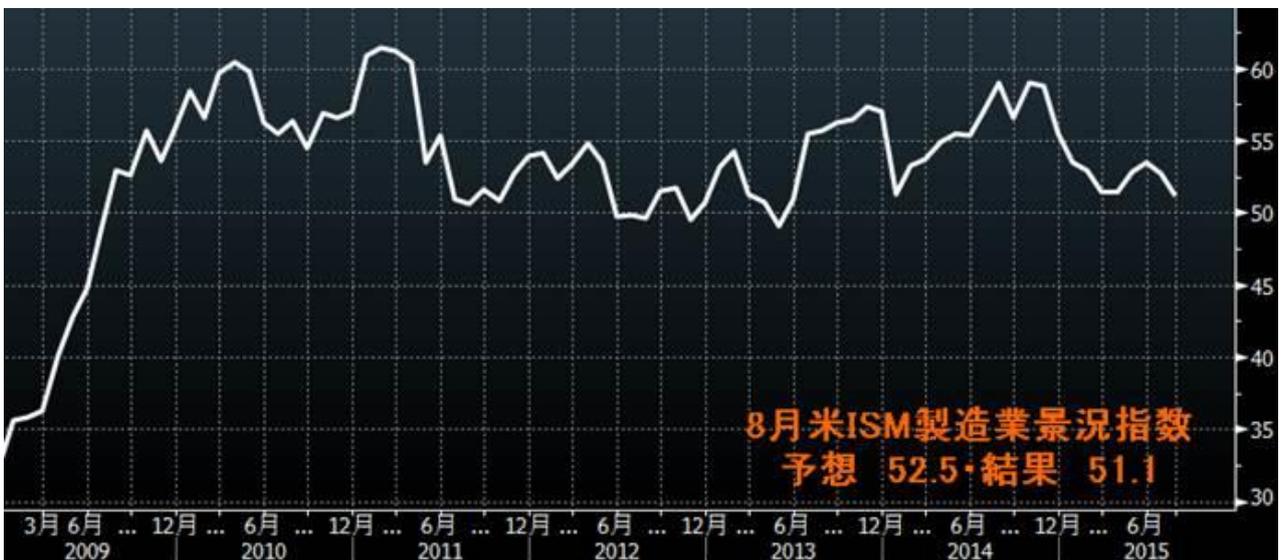
◀ ポイント ▶

ラガルド IMF 専務理事は、インドネシアの首都ジャカルタで講演し「新興国は中国経済の減速や国際金融市場の緊張が及ぼす影響に警戒する必要がある」と述べた。米FRBが利上げに踏み切るとの観測が増えていることも、新興国の脅威になり得るとの認識を示した。中国を含む新興国の景気が減速していることに加え、先進国の経済も弱いため、世界経済の成長は予想していたよりも緩やかになるとの見通しも示した。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月米ISM製造業景況指数 51.1 (予想 52.5・前回 52.7)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《米 ISM 製造業景況指数》

|      | 8月   | 7月   | 6月   | 5月   | 4月   | 3月   |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 景気   | 51.1 | 52.7 | 53.5 | 52.8 | 51.5 | 51.5 |
| 価格   | 39.0 | 44.0 | 49.5 | 49.5 | 40.5 | 39.0 |
| 生産   | 53.6 | 56.0 | 54.0 | 54.5 | 56.0 | 53.8 |
| 新規受注 | 51.5 | 56.5 | 56.0 | 55.8 | 53.5 | 51.8 |
| 受注残  | 46.5 | 42.5 | 47.0 | 53.5 | 49.5 | 49.5 |
| 入荷遅延 | 50.7 | 48.9 | 48.8 | 50.7 | 50.1 | 50.5 |
| 在庫   | 48.5 | 49.5 | 53.0 | 51.5 | 49.5 | 51.5 |
| 雇用   | 51.2 | 52.7 | 55.5 | 51.7 | 48.3 | 50.0 |

【ISM 製造業景況指数】

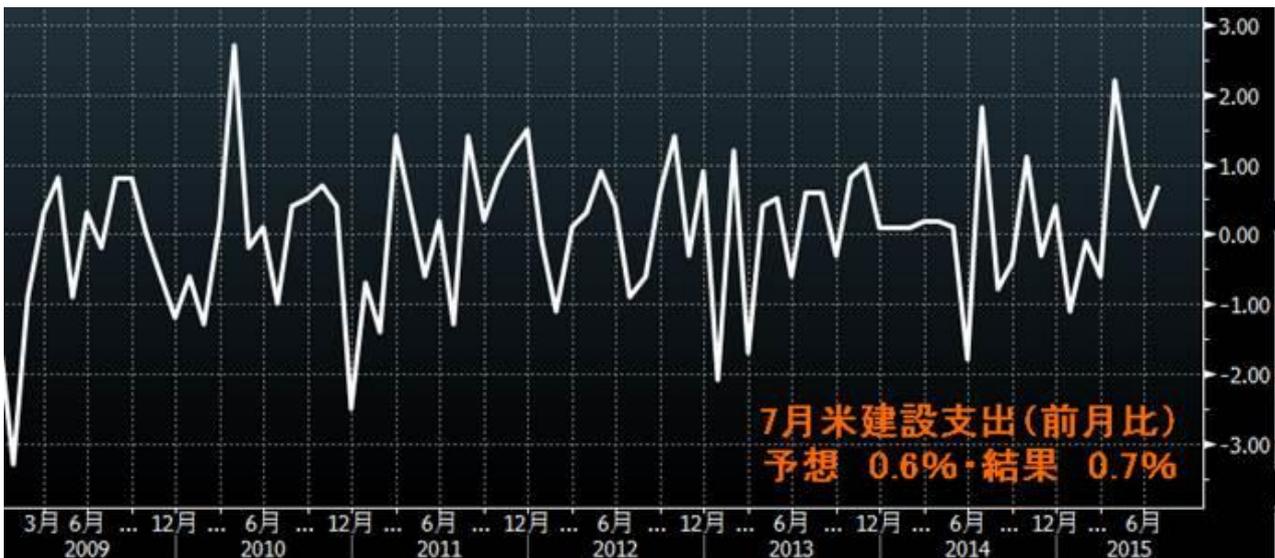
ISM 製造業景況指数は、全米供給管理協会（Institute for Supply Management=ISM）が発表する米国の製造業の景況感指数であり、製造業の購買・供給管理責任者に対するアンケートを集計した指数。50 が景気の拡大・後退の判断基準であり、50 を上回れば景気拡大、下回れば景気後退と判断する。

23 : 00

《 経済指標の結果 》

7 月米建設支出（前月比） 0.7%（予想 0.6%・前回 0.7%）

前回発表の 0.1% から 0.7% に修正



（出所：ブルームバーグ）

【米建設支出】

建設支出は、米国の民間・公共の建設支出について算出されたものであり、住宅建設、商業施設建設、公共施設建設という区分ごとに集計されている。

23 : 00

《 経済指標の結果 》

9 月米 IBD/TIPP 景気楽観指数 42.0（予想 47.1・前回 46.9）

## 指標結果データ

### ◀ IBD/TIPP 景気楽観指数 ▶

|          | 9月   | 8月   | 7月   | 6月   | 5月   | 4月   |
|----------|------|------|------|------|------|------|
| 景気楽観指数   | 42.0 | 46.9 | 48.1 | 48.1 | 49.7 | 51.3 |
| 半年先の景気先行 | 36.7 | 42.7 | 44.5 | 45.3 | 47.7 | 51.5 |
| 資金繰り見通し  | 53.0 | 58.0 | 55.6 | 57.7 | 58.3 | 56.7 |
| 政府の政策信頼度 | 36.2 | 39.9 | 44.2 | 41.2 | 43.1 | 45.7 |

### 【IBD/TIPP 景気楽観指数】

IBD/TIPP 景気楽観指数は、米インベスターズ・ビジネス・デーリー（IBD）とテクノメトリカ・マーケット・インテリジェンス社がまとめて発表する消費者関連指数。ミシガン大やコンファレンスボードの消費者信頼感指数の先行指標として注目されている。消費者信頼感指数と同様に 50 が判断の基準となり、50 を上回ると楽観的と判断する。

23 : 30

### ◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、8月の中国の景況感指数が低水準だったことがきっかけとなり、アジアや欧州市場の株価が大きく下落したことから、米主要株価の軒並み大幅下落となった。ダウ平均株価は、序盤から大きく下落となり、一時前日比で 403 ドル安まで下げる動きとなった。

### ◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 8月のマークイット米国製造業 PMI 改定値は、市場予想の 52.9 を上回る 53.0 となったものの、前月の 53.8 から低下し、2013 年 10 月以来の低水準となった。雇用は 52.4（前月 53.8）と 2014 年 7 月以来の低水準、生産は 53.8（前月 55.3）と 2014 年 1 月以来の低水準となった。マークイットのシニアエコノミストは「米製造業が引き続きドル高の逆風に苦しんでいる状況を示しており、世界経済の不透明性を浮き彫りにしている」としながらも、「国内消費が底堅く、コスト圧力が抑制されていることから、景気はなお回復基調にある」と分析。

(2) 8月の ISM 製造業景気指数は、市場予想の 52.5 を下回る 51.1 となり、2013 年 5 月以来 2 年 3 ヶ月ぶりの低水準となった。新規受注指数は 51.7（7 月 56.5）と 2013 年 5 月以来の低水準、価格指数は 39.0（44.0）と 3 月以来の低水準、雇用指数は 51.2（52.7）と 4 月以来の低水準、輸入指数は 51.5 と 2013 年 1 月以来の低水準となった。

(3) 7月の米建設支出は、年率換算で前月比+0.7%の 1 兆 833 億 7800 万ドルと、金額ベースで 2008 年 5 月以来 7 年 2 ヶ月ぶりの高水準となった。前年同月比では+13.7%。公共部門はマイナスとなったものの、民間が大きく伸びて全体を押し上げた。

①民間部門は、前月比+1.3%の 7877 億 7600 万ドルと 2008 年 4 月以来の高水準となり、住宅建設が+1.1%の 3808 億 1800 万ドル、住宅以外の建設は前月比+1.5%の 4069 億 5800 万ドル、また、製造業や運輸、教育が伸びる一方、商業や宿泊関連は減った。

②公共部門は、前月比-1.0%の 2956 億 200 万ドル、州・地方政府が前月比-1.1%、連邦政府は+0.9%。

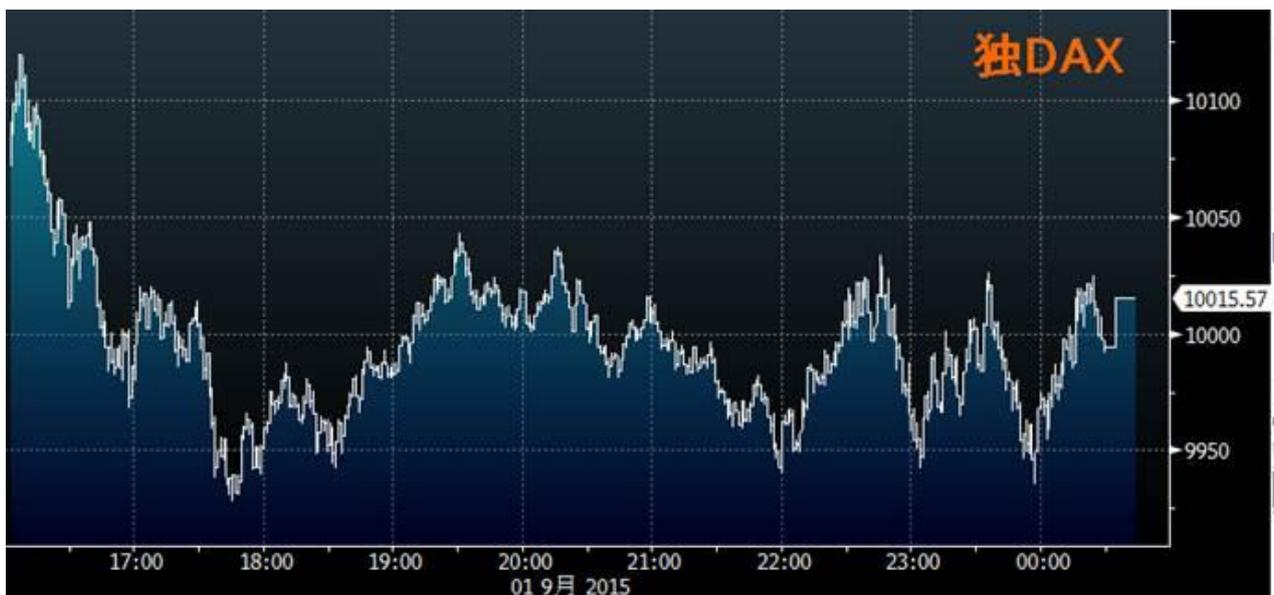
(4) 9月の米 IBD/TIPP 景気楽観指数は 42.0 と前月から 4.9 ポイント低下した。節目の 50 は 5 ヶ月連続で下回った。向こう半年の景気は 36.7（前月 42.7）、資金繰り見通しは 53.0（58.0）政府の政策信頼度は 36.2（39.9）と軒並み低下した。IBD/TIPP 指数は、ミシガン大やコンファレンスボードの消費者信頼感指数の先行指標として注目される。50 を上回ると楽観的と判断する。

| 欧州主要株価           | 終値       | 前日比      |
|------------------|----------|----------|
| 英 FT100          | 6058.54  | -189.40  |
| 仏 CAC40          | 4541.16  | -111.79  |
| 独 DAX            | 10015.57 | -243.89  |
| ストック欧州 600 指数    | 352.89   | -9.90    |
| ユーロファースト 300 指数  | 1392.57  | -39.66   |
| スペイン IBEX35 指数   | 9992.80  | -266.20  |
| イタリア FTSE MIB 指数 | 21451.37 | -490.55  |
| 南ア アフリカ全株指数      | 48515.13 | -1457.20 |

(出所: SBILM)

#### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、中国の景況指標の悪化で世界経済の先行き不安が強まり、資源株を中心に売りが膨らみ、主要株価は軒並み大幅下落となった。



(出所: ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 16191.44 (-336.59)、S&P500 1933.97 (-38.21) ナスダック 4701.18 (-75.33)

#### 《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、中国の景況感を示す8月の製造業購買担当者指数が3年ぶりの低水準だったことに加え、米ISM製造業景況指数も予想以上に落ち込んだことで世界景気の先行き懸念が広がり、安全資産とされる米国債の逃避買いが先行した。

午前の利回りは、30年債が2.95%（前日2.96%）、10年債が2.18%（2.21%）、7年債が1.90%（1.94%）、5年債が1.50%（1.55%）、3年債が1.02%（1.05%）、2年債が0.72%（0.74%）。

《欧州のポイント》

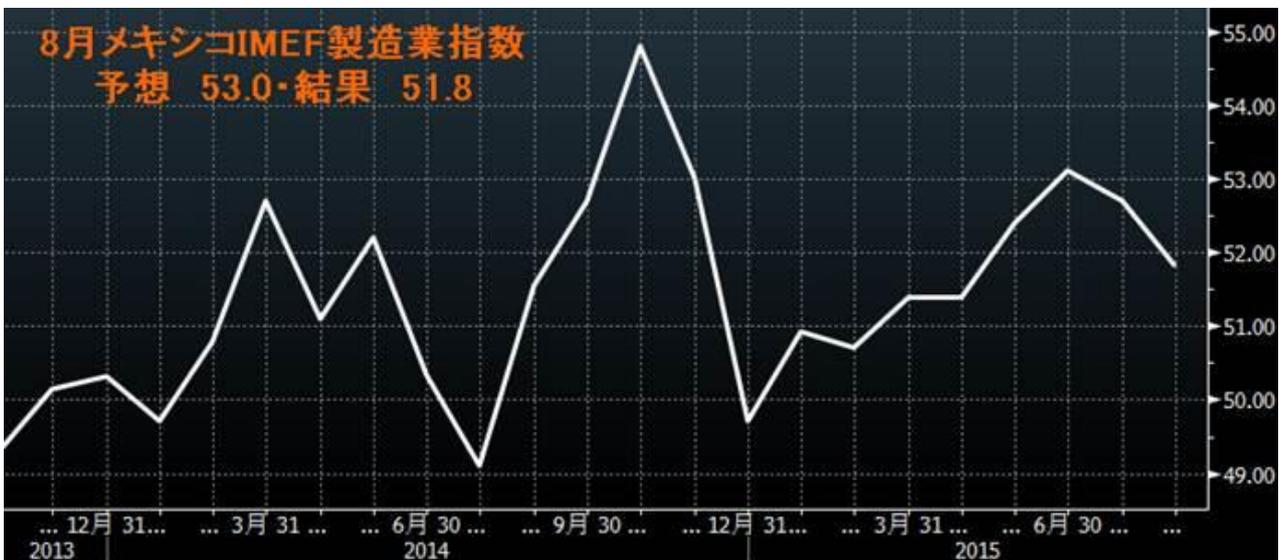
EU 統計局が発表した7月のユーロ圏の失業率は10.9%に低下し、2012年2月以来初めて11%を下回った。ユーロ圏の失業率は過去3ヵ月間11.1%で、市場予想は横ばいとなっていた。EU28カ国全体の失業率は9.5%と2011年6月以来の低水準となった。失業者数は、ユーロ圏で前月比21万3000人、EU全体で23万2000人それぞれ減少した。ユーロ圏で7月のデータを明らかにした17カ国のうち、失業者数は9カ国で減少し、5カ国で横ばいとなった。増加したのはフィンランド、フランス、リトアニアの3カ国にとどまった。イタリアは14万3000人減と6月の4万5000人増から一転して大きく減少した。失業率が最も低かったのはドイツで4.7%、次いでチェコとマルタの5.1%。最も高かったのはギリシャで、最新の5月のデータでは25.0%だった。スペインが22.2%でこれに続いた。

2:00

《 経済指標の結果 》

8月メキシコ IMEF 製造業指数 51.8 (予想 53.0・前回 52.7)

8月メキシコ IMEF 非製造業指数 49.5 (予想 51.6・前回 51.3)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

## 8 月米自動車販売

フィアット・クライスラーは+1.7% (予想-1.2%)

フォードは++5.6% (予想+0.2%)

GMは-0.7% (予想-2.6%)

トヨタは-8.8% (予想-10.0%)

日産は-6.9% (予想-7.0%)

ホンダは-1.0% (予想-3.9%)

2 : 15

◀ 要人発言 ▶

ローゼンブレン・ボストン連銀総裁

- ・「FF金利長期軌道、過去の引き締めより低い可能性」
- ・「段階的な米金融引き締め予想する十分な理由ある」
- ・「インフレへの合理的確信はまだ明確ではない」
- ・「世界経済の減速、米雇用見通し暗くする可能性も」

3 : 30

NY金は、中心限月が前日比 7.30 ドル高の 1 オンス=1139.80 ドルで取引を終了した。

4 : 15

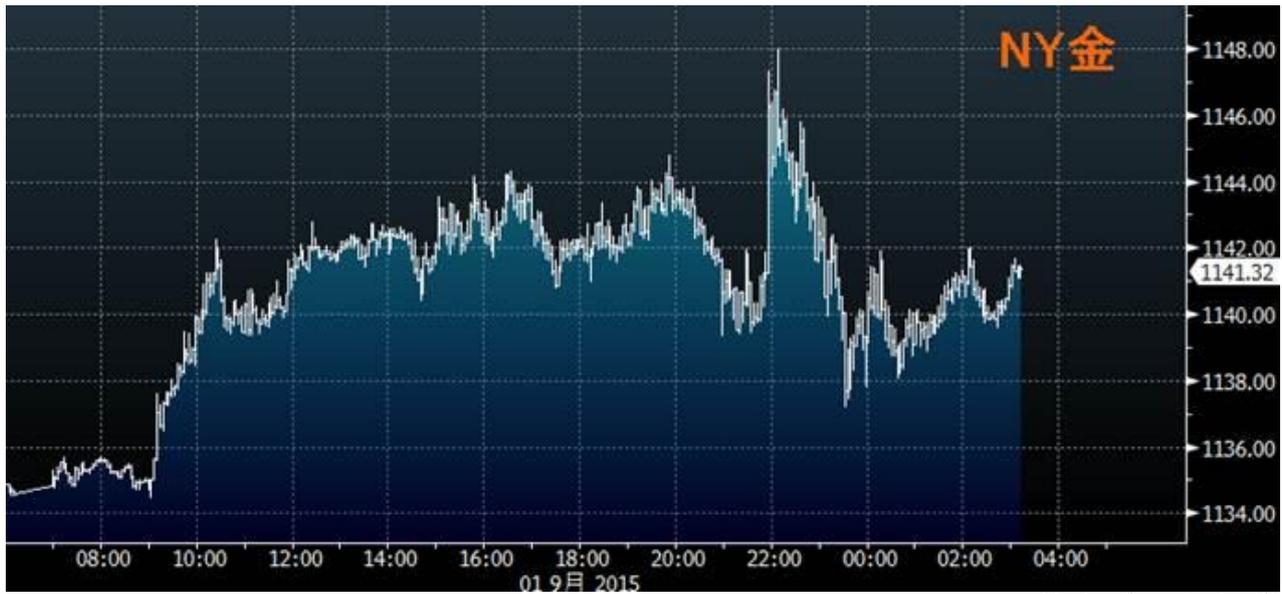
NY原油は、中心限月が前日比 3.79 ドル安の 1 バレル=45.41 ドルで取引を終了した。

| 主要商品    | 終 値     | 前日比   |
|---------|---------|-------|
| NY GOLD | 1139.80 | +7.30 |
| NY 原油   | 45.41   | -3.79 |

(出所:SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

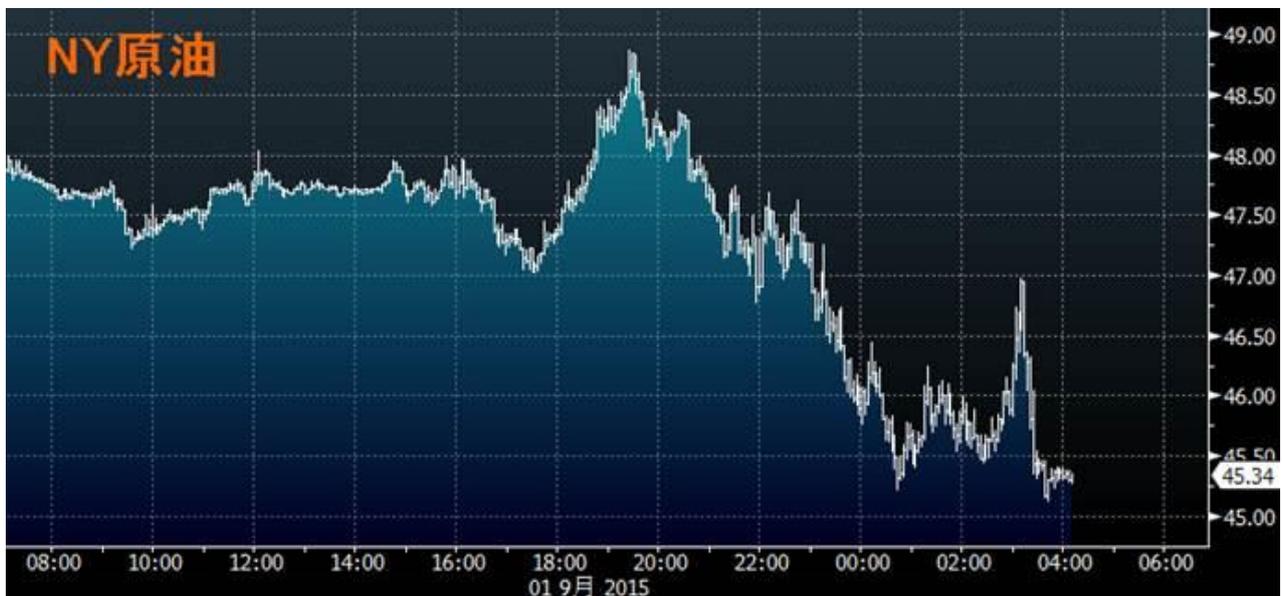
NY金は、中国経済への懸念を背景に投資家がリスク回避の動きを強め、株などを売って比較的安全な資産とされる金に資金を避難させる動きが広がった。また、ドルが主要通貨に対して下落したため、ドルの代替資産としての需要が高まったことも押し上げ要因となった。



(出所：ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、中国の景況感指数が悪化したことで、景気減速で原油需要が落ち込むとの懸念が広がり、売りが優勢となった。また、前日までの大幅続伸を受けて、一旦利益を確定する売りが出たことも圧迫要因となった。



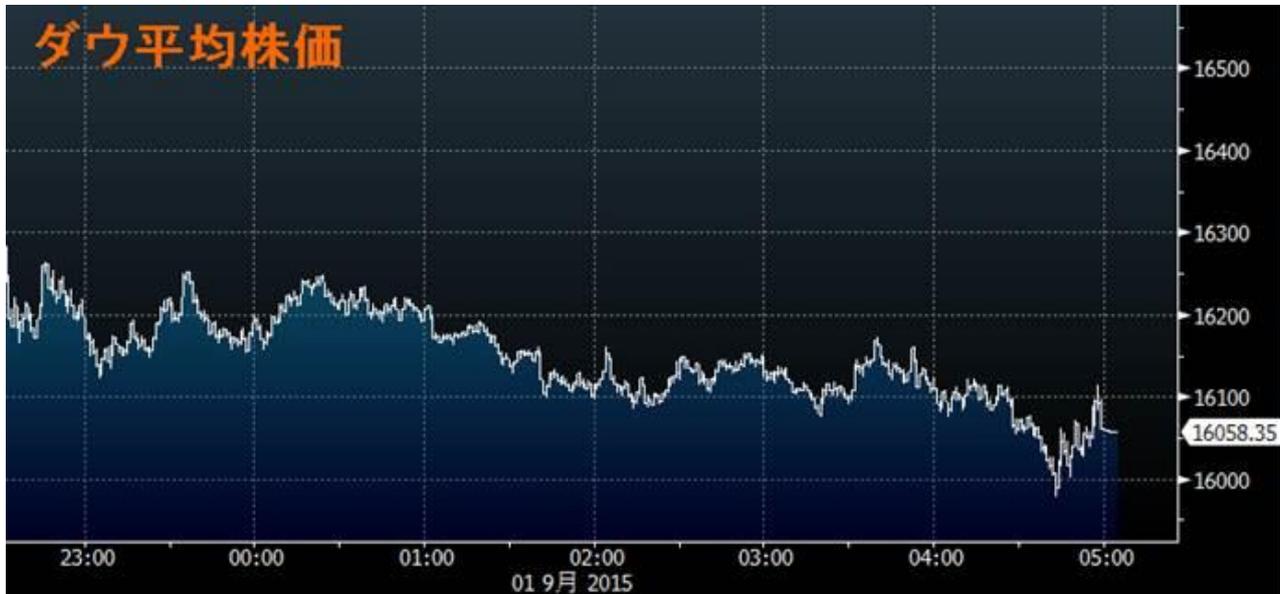
(出所：ブルームバーグ)

| 主要株価     | 終値       | 前日比     | 高値       | 安値       |
|----------|----------|---------|----------|----------|
| ダウ平均株価   | 16058.35 | -469.68 | 16528.03 | 15979.95 |
| S&P500 種 | 1913.85  | -58.33  | 1970.09  | 1903.07  |
| ナスダック    | 4636.11  | -140.40 | 4722.13  | 4614.91  |

(出所：SBILM)

### 《米株式市場》

米株式市場は、8月の中国の景況感指数が低水準だったことがきっかけとなり、アジアや欧州市場の株価が大きく下落したことから、米主要株価の軒並み大幅下落となった。ダウ平均株価は、序盤から大きく下落となり、終盤には一時前日比で548ドル安まで下げる動きとなった。



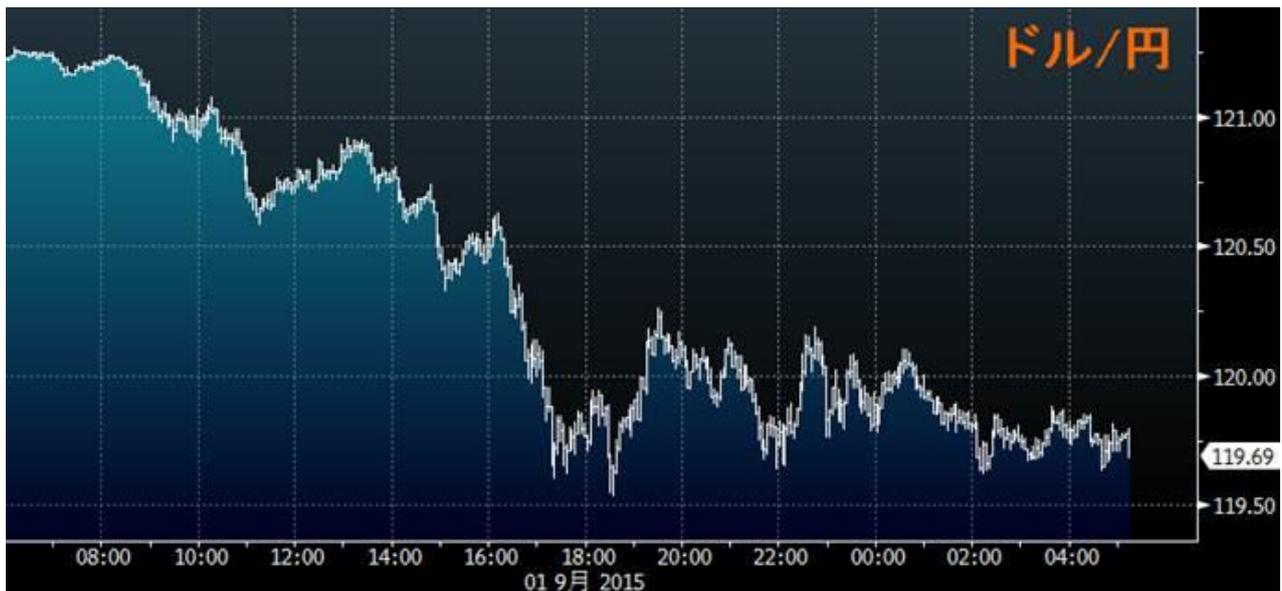
(出所：ブルームバーグ)

| 主要通貨    | NY 終値  | NY 高値  | NY 安値  |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 119.72 | 120.19 | 119.63 |
| EUR/JPY | 135.29 | 135.45 | 134.68 |
| GBP/JPY | 183.27 | 184.30 | 183.13 |
| AUD/JPY | 84.09  | 84.80  | 83.97  |
| NZD/JPY | 75.87  | 76.31  | 75.76  |
| EUR/USD | 1.1302 | 1.1314 | 1.1233 |
| AUD/USD | 0.7025 | 0.7065 | 0.7016 |

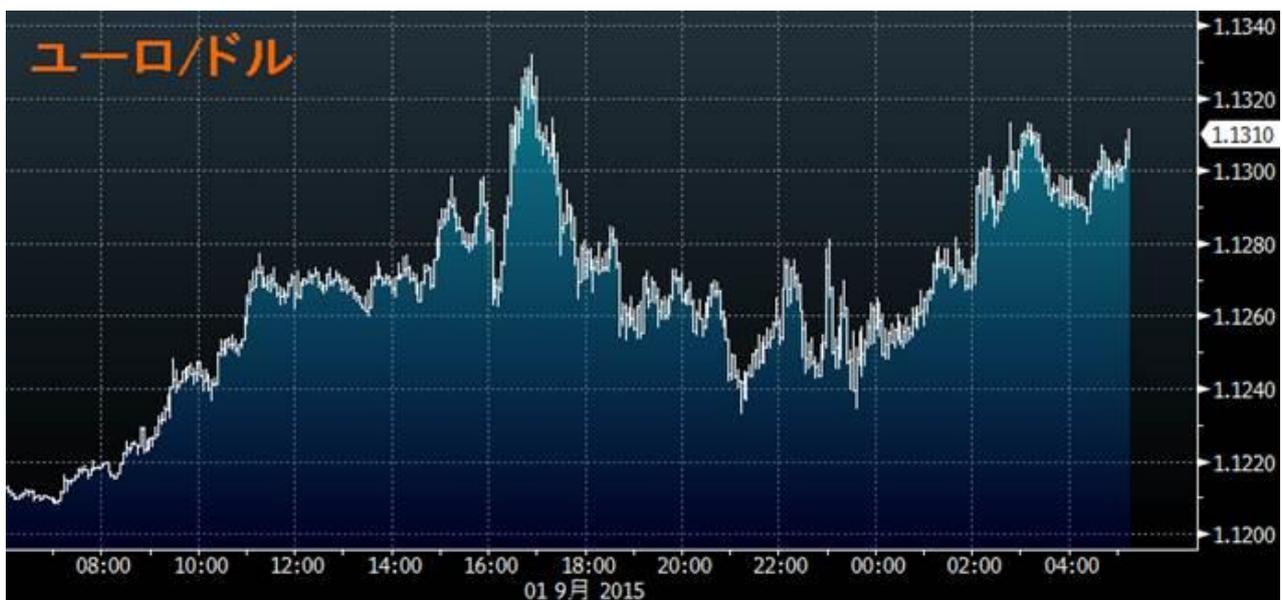
(出所：SBILM)

### 《外国為替市場》

外国為替市場は、世界的に株価が下落したことを受けて、序盤からドル円クロス円は軟調な動きとなった。また、米主要な経済指標が予想を下回ったことから、ドルも軟調な動きとなった。ただ、米雇用統計の発表を控えて様子見ムードも強く、値動きはやや限定的となった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。